

【54】伊佐沼

伊佐沼は、自然の湖沼では埼玉県内最大の沼です。古尾谷氏の家臣の伊佐氏が沼を浄化し溜池としたことが名前の由来で、もとは新河岸川の源流でもありました。



本来は、農業用の灌漑用水ですが、湖沼に恵まれない川越にとっては貴重な水辺景観であり、昔から紅白の蓮の花が水面を彩る頃、あるいは月の美しい季節には多くの人々がこのほりを訪れます。かつては、川越一大宮間を結んだ川越電気鉄道が沼ペリを通過していました。

【62】下老袋の氷川神社と古谷地区の水塚

下老袋(しもおいぶくろ)の氷川神社は、大宮の氷川神社から分祀したと伝えられ、江戸時代は老袋周辺7ヶ村の総鎮守でした。また軍明神ともいわれ、多くの軍人などから崇敬されていました。



県指定無形民俗文化財の行事として、毎年2月11日に弓取り式、4月11日に「老袋の万作」が行われます。

また、入間川に近いこの古谷地区は、川の氾濫に悩まされてきた歴史があり、水塚という屋敷地の一部を一段高く土盛りした倉があります。その斜面には草花が植えられている場所もあり、豊かな田園景観が形成されています。

【67】荒川や入間川が作り出した自然 —びん沼、萱沼、はいだわら—

かつて大きく蛇行していた荒川や入間川の流路が、細長い沼となって残りました。



はいだわらは、中老袋から下老袋にかけての入間川の古い流路です。その昔、肥料として使われていた灰を運搬していた船が、このあたりで転覆したことが名前の由来と伝わります。河川の歴史を今に伝えるとともに、豊かな自然が息づく景観です。

【56】菅間緑地と水田地帯

菅間緑地は、平成9年(1997)に開設された川越市初のビオトープを備えた公園です。ビオトープでは、人の立ち入りが制限されていて、多くの野鳥が集まります。これらの野鳥を観察するために、観察用小窓のついた塀があり、集まってくる鳥のレリーフがはめ込まれています。

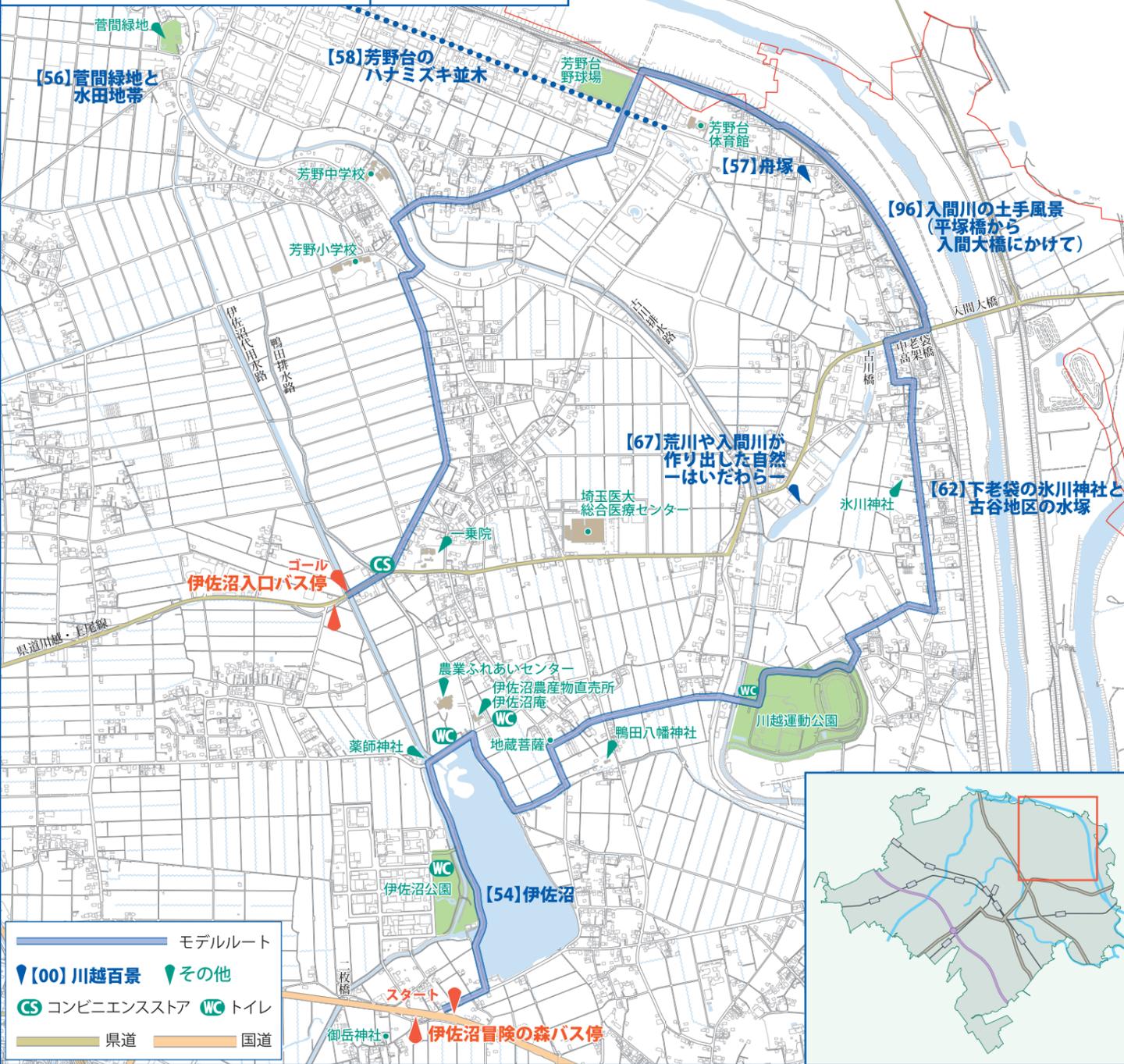
この場所は、もとは菅間氏という旧家の屋敷地で、その広大な屋敷林と水田を利用して公園が整備されました。

また、この緑地の西には、芳野地区の水田が広がり、芳野地区の爽やかな穀倉地帯の景観を楽しむことができます。



④伊佐沼と古谷・芳野の農風景めぐり(約10km)

伊佐沼冒険の森バス停→【54】→【62】→【96】→【57】→【58】→伊佐沼入口バス停
徒歩約2時間30分
見学・休憩等含まず



鴨田八幡神社

川越城が築かれた際、この地が城の東南にあるため、城の鬼門の守りのために建てられました。かつての美しい参道の面影を伝える松並木が残っています。



一乗院

星光山新善光寺一乘法華経院と号する天台宗の寺院です。長屋門には、昭和40年当時の住職が収集した、農家で不要となった農具が収められています。田へ水を引く踏み車、機織、スキ、クワなど、生活の知恵を生かした貴重な道具類です。



薬師神社

古くから伊佐沼の西岸に祀られていた神社で、社殿は、元和9年(1623)に川越城主酒井忠利の奉納により建立されました。大工の根岸八五郎による素朴な工法がそのまま保存され、郷土的特色のある茅葺き屋根の貴重な建造物は市指定文化財となっています。



伊佐沼農産物直売所

地元でとれた野菜、米、卵、切花、養豚家がつくる本格ハムや手づくり饅頭などを販売しています。



【57】舟塚

舟塚は、入間川右岸の自然堤防上に6世紀後半に築造された古墳です。全長約50mの前方後円墳で、舟を伏せたような形から名付けられました。



明治20年(1887)に、植木小学校和役場を建てるために墳丘の大部分が削られ、その時出土した遺物は再び住民によって埋蔵されました。その遺物は、昭和45年(1970)に再び墳丘が削られた際に、再発見されています。

上老袋地区は、現在はその多くが入間川の河川敷となっりましたが、舟塚は古の歴史を今に伝える貴重な資源となっています。

【58】芳野台のハナミズキ並木

芳野台は、川越の中心市街地の住工が混在した状況を解消するために、昭和56年(1981)に造成された工業団地です。

現在は約110社が操業しており、殺風景になりがちな工場団地に潤いを与えているのがメインストリートのハナミズキ並木です。足元にはツツジが咲き、春先には彩りのある景観が楽しめます。



ここでは、工業団地が隣接する田園地帯と融合するように、公園や調節池を周囲に配置するとともに、広い緩衝帯を設けています。

【96】入間川の土手風景(平塚橋から入間大橋にかけて)

平塚橋から入間大橋にかけての入間川の土手は、春には一面に咲き誇る菜の花で黄色に、秋には曼珠沙華の花で朱に染まります。



土手の上には県道川越狭山自転車道線が通り、ここは、自転車道全長約22kmのうち、起点となる区間にあたります。サイクリングで平塚橋を出ると、左手に入間川、右手に山団地区の田園地帯が眺められます。続けて、釘無橋を抜け、越辺川との合流点を過ぎると右手に芳野台の川越工業団地が見渡せます。さらに、舟塚と上老袋の田園風景を見ながら進むと入間大橋に到着します。

農業ふれあいセンター

春にはれんげまつり、秋には稲刈り体験教室などが開かれ、市民の憩いの場となっています。毎月第四土曜日には、新鮮で安い農作物が並ぶ、伊佐沼青空市が開催されています。

伊佐沼庵

江戸時代末から明治初めに建築されたと推定される「旧戸田家住宅」を移築復元しています。現在は、地場産小麦粉を使用したうどんなどを提供する食事処になっています。

